



施設見学のご紹介

土研、国総研には、大きな実験機械や施設がたくさんあります。

私たちの生活になくてはならない道路や橋、トンネルやダムなどの土木構造物をつくったり、安全に使い続けるために必要な実験をしています。実験で得られた成果は、いろいろなところにいかされています。

「どんな実験をしているのかな?」「実験施設はどのくらい大きいのかな?」みてみてね。「なんだろう?」と思ったら、説明してくれる研究員さんに、ぜひ、質問してみてくださいね。

高速走行でカーブを曲がれ!

試験走路

試験走路の長さは6,152m、バンクの角度は約30度です。この施設では、道路の走行性、安全性、環境保全などに関する実験をおこなっています。実験の結果は、道路構造令などの道路に関連する技術基準にいかされています。



無人で走るトラックを観察しよう!

舗装走行実験場

この施設は、1周の長さ628mの周回型の実験場です。道路の舗装面が自動車の走行にどのくらい耐えられるのかを調べるために、重りをのせた特別な車両を自動走行させて調べています。



ド迫力! ダム緊急放流中!

水理実験施設

私たちの生活で使う水を貯めたり、洪水が起きないように調節したり、ダムには重要な役割があります。ダムで水を流す場合、水の流れはとても複雑です。どんな設備にすればうまく流せるのか、大型の模型を使って実際に水を流して実験しながら検討しています。



橋の健康診断をしてみよう！

臨床研究用撤去部材保管施設

古い橋から新しい橋にかけかえる際に、古い橋の一部をもってきて、橋のいたみ方などを調べて研究の材料にしています。この施設で研究した結果は、橋を造ったり、守っていくためのルール作りに役立っています。



地震に強い道路をつくろう！

道路基盤構造実験施設

大きな地震が起きると、道路に段差ができて通れなくなることがあります。この施設では、地震被害の段差状況などを再現し、その対策や段差ができないようにする方法の技術開発に役立てる実験をおこなっています。



トンネルの明るさってどれくらい？

実大トンネル実験施設

実大トンネル実験施設は、全長700mあり、世界最大規模の実験用のトンネルです。実際にトンネルの中に入って、トンネルの明るさを変えたときに、遠くにあるものの見え方がどう変わるかについて体験できます！



下水管の点検調査を知ろう！

下水道管路模擬施設

普段は地下に潜って見るできない下水管を地上に再現した施設です。この施設では、下水管内に発生する様々な異常を再現でき、実際に近い条件下で下水管内を点検調査する機器の性能を確認することができます。



ミニチュア模型で大きな地盤の実験ができるか 見てみよう！

大型動的遠心力載荷試験装置

この実験装置は、ミニチュア模型に遠心力をくわえて重力を増やすことで、実物を忠実に再現して実験することができる装置です。腕の長さが16.5m(地下鉄の車両くらい)もあり、回っているときは迫力満点！東日本大震災の地震波の再現もできる世界最大級の装置です。



無人ショベルカーを動かせ！

建設DX実験フィールド

この施設は、広さ約100m×260mあり、ラジコン建設機械や自動で動く建設機械などの最新技術を身近で使えるようにするために、実際の工事と同様の屋外実験をおこなっています。



※事前予約した方のみ、無人ショベルカーを動かすリモコン操作体験ができます。

※事前予約していない方は、建設機械の見学、一緒に写真撮影、運転席への乗車体験*をお楽しみいただけます。

*お時間をいただく可能性があります

地面の中を調べてみよう！

機械施工屋内実験施設

道路やダム・堤防などを作るときには、地面の性質を調べる必要があります。ここでは、地上から地面の中を調べる方法、地面の中の一部を取り出して調べる方法、地面の形から地面の性質を調べる方法が体験できます！



働く自動車展示

災害の現場等で活躍している、排水ポンプ車・照明車を展示しています。 ※協力:下館河川事務所

